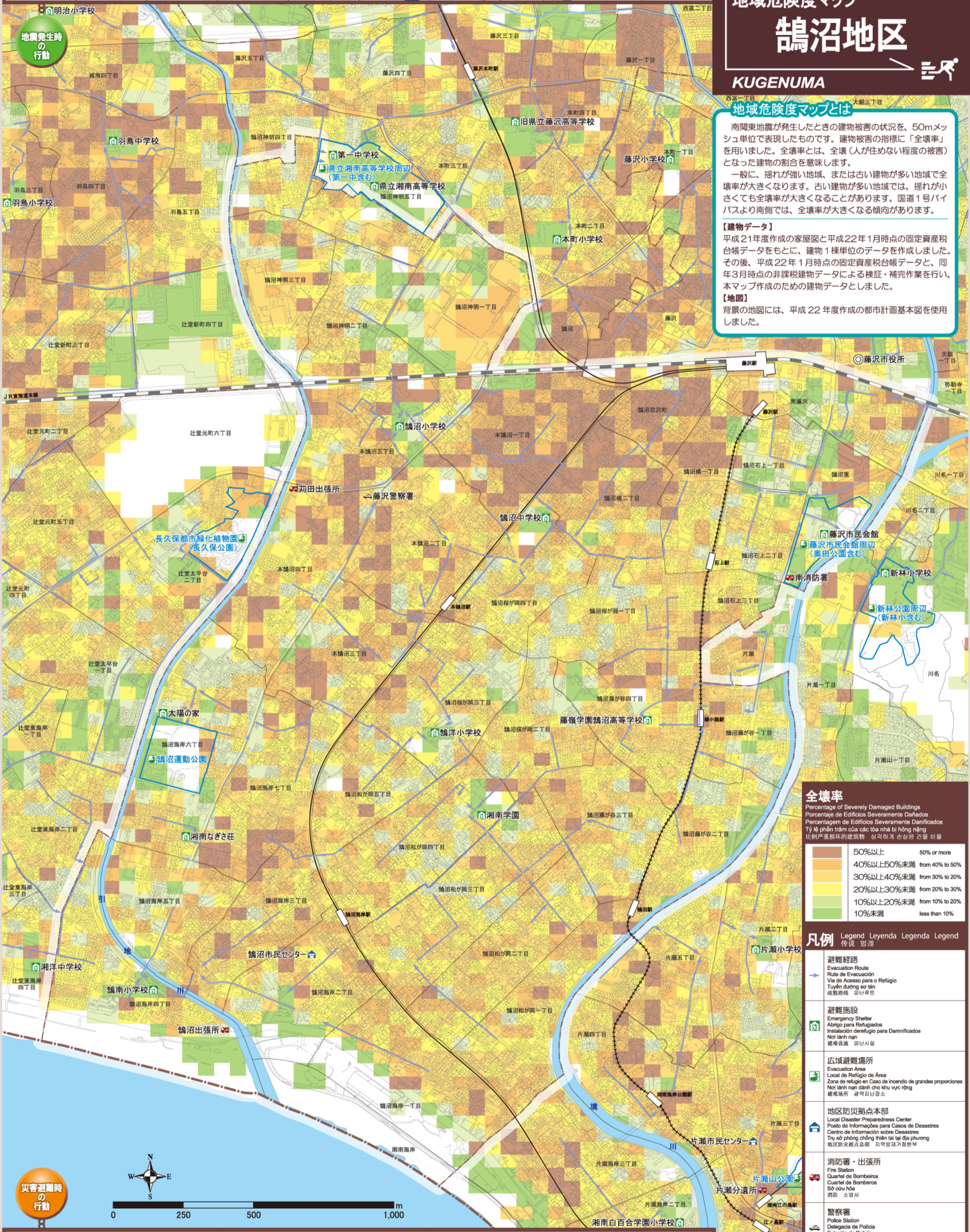


- | 自宅 | 学校 | オフィス | 高層ビル | 海岸や河川敷 | 路上や街中 | 店舗や施設 | エレベーターの中 | 電車・バス乗車中 | 自動車運転中 |
|--|--|--|---|--|---|---|--|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ●テーブルの下に身を伏せ、身の安全を確保。 ●出口の確保。 | <ul style="list-style-type: none"> ●机の下にもぐり、頭を保護。 ●教職員等の指示に従う。 | <ul style="list-style-type: none"> ●OA機器の落下に注意し、素早く机の下に潜り身の安全を確保。 | <ul style="list-style-type: none"> ●重心を低くし、その場を動かさない。 ●窓ガラスが割れ、外に投げ出されないよう窓際から遠ざかり、身の安全を確保。 | <ul style="list-style-type: none"> ●揺れの大きさに関わらず早くその場を離れ、高台(間に合わない時は3階建て以上の鉄筋コンクリート建物)へ避難。 | <ul style="list-style-type: none"> ●ブロック塀や石塀、電柱から遠ざかる。 ●持ち物で頭を保護し、公園や広い場所へ避難。 | <ul style="list-style-type: none"> ●買い物かごやバッグ等で頭を保護。 ●係員の指示に従い、落ち着いて行動。 | <ul style="list-style-type: none"> ●すべての階のボタンを押し、最初に停止した階へ降りる時は、火災等周辺状況を確認。 | <ul style="list-style-type: none"> ●吊革や手摺に両手でつかまり、足を踏ん張って前かがみの姿勢をとり、揺れで車外に出ず、ラジオで地震情報を確認。 | <ul style="list-style-type: none"> ●ゆるやかに減速し、道路の左側に止めエッジを切る。 ●揺れがおさまるまで車外に出ず、ラジオで地震情報を確認。 |

FUJISAWA

地域危険度マップ 鵺沼地区

KUGENUMA



地域危険度マップとは

南関東地震が発生したときの建物被害の状況を、50mメッシュ単位で表現したものです。建物被害の指標に「全壊率」を用いました。全壊率は、全壊(人が住めない程度の被害)となった建物の割合を意味します。

一般に、揺れが強い地域、または古い建物が多い地域で全壊率が大きくなります。古い建物が多い地域では、揺れが小さくても全壊率が大きくなる場合があります。国道1号バイパスより南側では、全壊率が大きくなる傾向があります。

【建物データ】
平成21年度作成の家屋図と平成22年1月時点の固定資産税台帳データをもとに、建物1棟単位のデータを作成しました。その後、平成22年1月時点の固定資産税台帳データと、同年3月時点の非課税建物データによる検証・補完作業を行い、本マップ作成のための建物データとしました。

【地図】
背景の地図には、平成22年度作成の都市計画基本図を使用しました。

全壊率

Percentage of Severely Damaged Buildings
Porcentaje de Edificios Severamente Dañados
Porcentagem de Edifícios Severamente Danificados
Tỷ lệ phần trăm của các tòa nhà bị hỏng nặng
比例严重损坏的建筑物 심각하게 손상된 건물 비율

50%以上	50% or more
40%以上50%未満	from 40% to 50%
30%以上40%未満	from 30% to 40%
20%以上30%未満	from 20% to 30%
10%以上20%未満	from 10% to 20%
10%未満	less than 10%

- ### 凡例
- Legend / Leyenda / Legenda / Legend
- 避難経路: Evacuation Route
 - 避難施設: Emergency Shelter
 - 広域避難場所: Evacuation Area
 - 地区防災拠点本部: Local Disaster Preparedness Center
 - 消防署・出張所: Fire Station
 - 警察署: Police Station
 - 町丁目界: City Neighborhood Boundary

- ### 災害避難時の行動
- まず、身の安全!**
 - 机やテーブルなど、その場で一番丈夫な物の下に身を伏せ、身の安全を確保。
 - 倒れてきそうなものを支えに行かない。
 - すばやく火の始末!**
 - 揺れがおさまったら、すばやく火の始末をする。(ストーブの火、ガスの元栓、電気器具のコンセント等)
 - 出口の確保!**
 - 建物が傾くと、窓やドアがゆがみ開かなくなるので、可能であれば、窓やドアを開け、出口を確保しよう。
 - 慌てて飛び出さない!**
 - 屋根瓦やガラス、瓦・看板・照明などの落下物は危険なので、慌てて外に飛び出さないように心がけよう。
 - 倒壊に注意!**
 - 傾いた建物・石塀・ブロック塀・自動販売機など、倒壊の恐れのあるものには近寄らないようにしよう。
 - 頭の保護!**
 - 建物の下を歩く場合は落下物に備えて、カバンなどを持っている場合には、頭上にかけて頭を守ろう。
 - 山崩れ・崖崩れ注意!**
 - 山崩れ、崖崩れの危険性がある場所からは離れ、近寄らないようにしよう。
 - 徒歩で避難!**
 - 車での避難は交通渋滞が発生し緊急車両の通行を妨げる恐れがあります。車での避難はさけ、徒歩で避難しよう。
 - 隣近所に声をかけて!**
 - 普段から隣近所や防災市民組織と交流をもち、いざというときに備えよう。
 - 正しい情報を聞こう!**
 - ラジオやインターネット、広報車や防災行政無線、協力団体などから正しい情報を入手し、的確な行動をしよう。

